

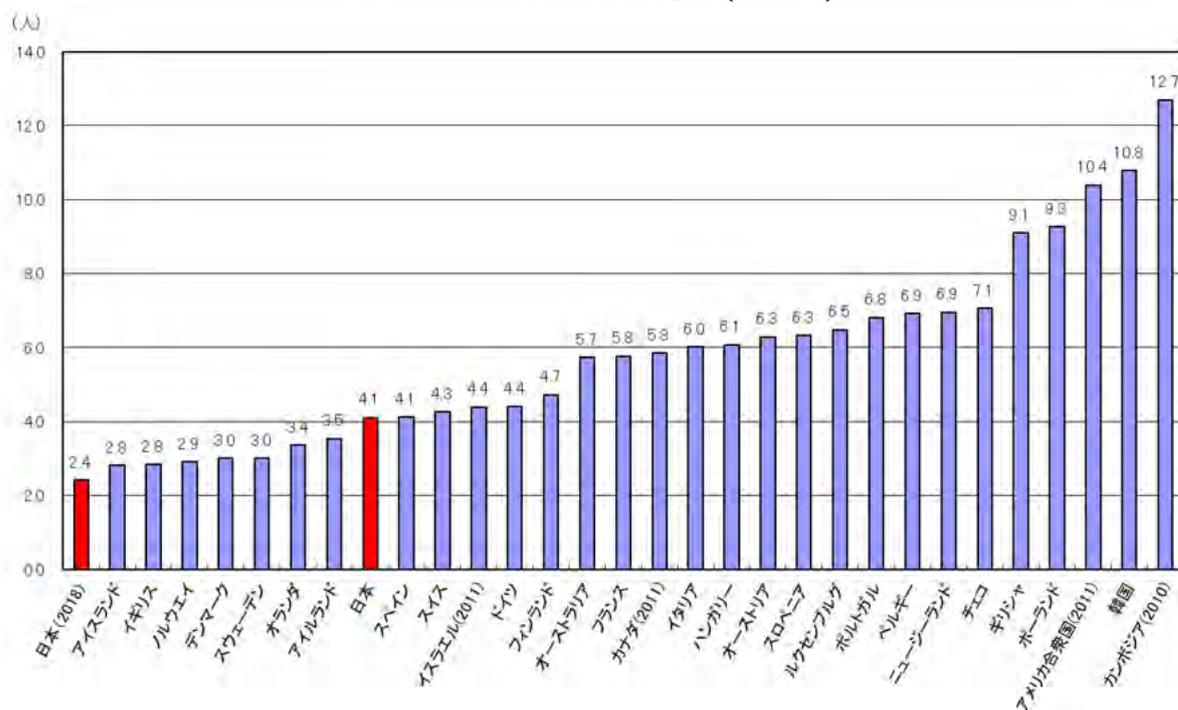
第5項 交通事故発生状況の国際比較

(1) 人口10万人当たりの交通事故死者数（2012年）の国際比較

国際道路交通事故データベース（IRTAD）がデータを有する30カ国について、人口10万人当たりの交通事故死者数を比較（2012年時点）すると、日本は4.1人であり、第8位に位置している。

平成30年までに24時間死者数を2,500人以下とする政府目標を達成した場合、人口10万人当たりの交通事故死者数は2.4人となる。

人口10万人当たり交通事故死者数（2012年）



- 注) 1 国名に年数（西暦）の括弧書きがある場合を除き、2012年の数値である。（ただし、「日本(2018)」を除く。）
 2 数値は全て30日以内死者（事故発生から30日以内に亡くなった人）のデータを基に算出されている。
 3 日本（2018年）の数値は、政府方針である2018年（平成30年）の24時間死者数の目標2,500人に、2012年の日本の24時間死者数と30日以内死者数の比率を乗じることによって2018年における30日以内死者数を2,968人と推定し、この推定死者数と125,236千人（2018年における日本の予測人口）を用いて算出した（125,236千人は国立社会保障・人口問題研究所「総人口年齢3区分別人口及び年齢構造係数：出生中位（死亡中位）推計」（平成24年1月推計）より引用）。

出典：IRTAD 資料